



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日
東上場会社名 鈴与シンワート株式会社
コード番号 9360

上場取引所

URL http://www.shinwart.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 徳田康行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 足洗俊之

(TEL) 03-5440-2800

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,525	0.6	37	632.2	60	103.0	△18	—
2019年3月期第3四半期	10,457	6.8	5	—	29	111.1	△36	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △25百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △25百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△6.20	—
2019年3月期第3四半期	△12.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	10,260	2,238	21.8	760.96
2019年3月期	10,913	2,300	21.1	782.03

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,238百万円 2019年3月期 2,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	3.6	320	330.1	311	195.6	244	982.0	83.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	3,000,000株	2019年3月期	3,000,000株
2020年3月期3Q	57,950株	2019年3月期	57,947株
2020年3月期3Q	2,942,053株	2019年3月期3Q	2,942,107株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、世界経済においては、米国通商政策の動向や中国経済の先行き、中東地域をめぐる情勢等、依然として不確実性が高く、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は105億25百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は37百万円（前年同四半期比632.2%増）、経常利益は60百万円（前年同四半期比103.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は18百万円（前年同四半期は36百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①情報サービス事業

売上高は、ソフトウェア受託開発事業において、要員シフト等のインパクトにより一部で減収傾向にあるものの、人事給与・会計を中心としたパッケージ導入及びBPOサービスを行っているビジネス・プロセス・サービス事業の増収により、前年並を確保することが出来ました。

以上の結果、売上高は81億34百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

セグメント利益は、フロア増強を図ったBPOセンター、新事業の立ち上げ遅れ等のインパクトはあるものの、前事業年度より継続している単金引き上げなどの収益性向上施策が功を奏し増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は6億72百万円（前年同四半期比52.4%増）となりました。

②物流事業

売上高は、倉庫事業においては、適正料金への改定が進み、また営業体制強化によるスポット貨物の取込みにより増収となりました。港運事業では、オリンピック需要が一段落したことや原糖本船のずれ込み等の影響により減収となりました。陸運事業では、小麦粉輸送の堅調、前事業年度末より継続している長距離中継輸送等が、セメント輸送の減少や乗務員不足の不稼働をカバーし、増収となりました。

以上の結果、売上高は23億96百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

セグメント利益は、倉庫事業については、適正料金への改定により利益は増えたものの、業務効率化を目指すため導入した倉庫管理システムの償却開始や一時的な残業増等により、減益となりました。港運事業では、荷役機器による作業効率化、利益率の良い新規商材が増量していることで増益となりました。陸運事業では、小麦粉輸送において適正料金への改定を獲得したことなどで堅調、セメント輸送の減少などをカバーして増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は1億94百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5億93百万円減少し、37億30百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少4億64百万円と受取手形及び売掛金の減少2億75百万円、仕掛品の増加1億38百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて58百万円減少し、65億28百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の減少1億36百万円と繰延税金資産の減少37百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6億53百万円減少し、102億60百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億42百万円減少し、33億26百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少1億74百万円、短期借入金の減少2億11百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億48百万円減少し、46億94百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少2億31百万円によるものであります。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて62百万円減少し、22億38百万円となりました。これは主として、利益剰余金の減少55百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,727,990	1,263,241
受取手形及び売掛金	2,119,934	1,844,470
商品及び製品	19,713	16,568
仕掛品	259,083	398,072
原材料及び貯蔵品	1,884	1,371
その他	201,580	209,674
貸倒引当金	△6,066	△3,113
流動資産合計	4,324,119	3,730,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,340,058	1,203,820
土地	2,489,232	2,489,232
その他（純額）	980,364	1,060,557
有形固定資産合計	4,809,655	4,753,610
無形固定資産	314,512	318,480
投資その他の資産		
投資有価証券	473,476	477,318
繰延税金資産	753,731	716,547
その他	247,391	277,656
貸倒引当金	△11,623	△15,363
投資その他の資産合計	1,462,975	1,456,159
固定資産合計	6,587,144	6,528,249
繰延資産	2,553	1,496
資産合計	10,913,817	10,260,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	890,142	715,977
短期借入金	1,623,720	1,412,608
未払法人税等	63,616	11,637
賞与引当金	415,657	231,627
受注損失引当金	50	—
その他	776,698	955,060
流動負債合計	3,769,885	3,326,911
固定負債		
社債	180,000	111,000
長期借入金	2,283,900	2,052,672
再評価に係る繰延税金負債	171,986	171,986
役員退職慰労引当金	25,336	22,075
退職給付に係る負債	1,841,267	1,906,766
その他	340,659	429,851
固定負債合計	4,843,150	4,694,352
負債合計	8,613,035	8,021,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	802,250	802,250
資本剰余金	162,250	162,250
利益剰余金	1,117,904	1,062,883
自己株式	△37,394	△37,396
株主資本合計	2,045,009	1,989,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,734	37,581
土地再評価差額金	214,733	214,733
退職給付に係る調整累計額	△5,696	△3,531
その他の包括利益累計額合計	255,771	248,783
純資産合計	2,300,781	2,238,769
負債純資産合計	10,913,817	10,260,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	10,457,909	10,525,517
売上原価	9,048,704	8,896,312
売上総利益	1,409,205	1,629,205
販売費及び一般管理費	1,404,102	1,591,840
営業利益	5,103	37,364
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	5,827	6,742
持分法による投資利益	22,348	17,988
経営指導料	—	12,906
受取賃貸料	14,400	14,400
貸倒引当金戻入益	14,317	—
その他	4,850	5,614
営業外収益合計	61,746	57,655
営業外費用		
支払利息	32,849	30,714
その他	4,056	3,506
営業外費用合計	36,906	34,221
経常利益	29,942	60,798
特別利益		
固定資産売却益	—	850
投資有価証券売却益	—	3,141
特別利益合計	—	3,991
特別損失		
固定資産除却損	—	722
投資有価証券評価損	42,612	—
特別損失合計	42,612	722
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12,669	64,068
法人税等	23,716	82,314
四半期純損失(△)	△36,386	△18,246
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,386	△18,246

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△36,386	△18,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,052	△9,153
退職給付に係る調整額	2,257	2,165
その他の包括利益合計	11,310	△6,988
四半期包括利益	△25,076	△25,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,076	△25,234

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,123,465	2,334,444	10,457,909	—	10,457,909
セグメント間の内部売上 高又は振替高	927	—	927	△927	—
計	8,124,392	2,334,444	10,458,836	△927	10,457,909
セグメント利益	441,075	217,211	658,286	△653,183	5,103

(注)1 セグメント利益の調整額△653,183千円は、セグメント間取引消去△927千円、各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△652,256千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,132,850	2,392,667	10,525,517	—	10,525,517
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,994	3,976	5,971	△5,971	—
計	8,134,845	2,396,644	10,531,489	△5,971	10,525,517
セグメント利益	672,344	194,294	866,638	△829,274	37,364

(注)1 セグメント利益の調整額△829,274千円は、セグメント間取引消去△5,971千円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△823,303千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。